

吉原東中学校の適正化に関する吉永地区説明会（令和3年12月22日）要旨

会場：吉永まちづくりセンター2F 集会室

事務局より

- ・広報紙による具体的支援策の提案
- ・「令和6年4月編入」及び「編入統合を理由とする指定校変更はできない」の説明

以下、質疑応答（【凡例】○は意見、質問 →は教育委員会の返答）

○令和4年度の入学予定者は、吉原東中、吉原三中のどちらに入学するのか。

→令和4年4月は吉原東中に入学し、令和6年4月に全学年が一斉に吉原三中へ編入する案を軸に検討を進めています。

○多様な価値観と出会う機会が失われるとあるが、少ない人数でも十分な教育を受けられていた。吉原東中では、地域の方々と交流する機会が多く、受験の面接練習をやっていただいたこともあった。指定校変更ができなくなったという話があったが、本当は吉原東中学校の通学区域なのに、指定校変更を希望して吉原三中へ通う生徒が学年に2～3人いると聞いている。先の見えないなかでは不安になるのは当然である。これまでの会議で、「検討中」と回答した部分について、はっきりと明確な回答をウェブサイトなどに載せてほしい。また、こうした説明会に来られない方もいると思うが、無記名のアンケートなどを実施するなどの考えはないか。

→吉原東中学校の教育が素晴らしいことは言うまでもありません。しかし、現在の教育環境をこのままずっと維持できるかという視点で見ると難しいと考え、今回の提案をしています。「吉原東中学校の学校規模では横のつながりが薄くなるので、縦のつながりを重視してきた」と歴代の校長から伺っています。今後、生徒数が今以上に減少していくと、縦のつながりを維持することさえ難しくなっていくてしまいます。+各説明会において「検討する」と答えたものについては、広報紙などで回答しています。しかし、現時点で編入統合が確定しているわけではないので、予算の確保が必要な支援策などは、必ず実施できるとはまだ言えません。また、説明会に参加できない方々へは、説明会を複数回にするなどして対応するとともに、会議での内容を広報紙で回覧したり、ウェブサイトへアップしたりして広報しています。

○生徒数が年々減少していくとあったが、資料を見るとそれほど減少していかないように思う。地域や保護者から賛同を得るには、たった1年の議論では結論は変わらない。令和6年からでも早すぎる。保護者にもアンケートを取っていくべきではないか。

→資料の推定児童生徒数は、吉原東中学校の学区内に居住している学齢期の子ども的人数です。この数には、私立中学校へ進学する生徒も含まれることから、この数字より減ることになる。令和6年4月でも早すぎないかとあったが、現在の生徒数でさえ限界であり、法令で配置されている正規教員数では9教科を指導できません。財政的なことからではなく、人材確保の面で、今後も継続できるかは不透明な状況です。

○アンケートの実施についてはどうか。

→富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針を策定するに当たって、吉原東中や吉永一小の保護者を含め、市内の保護者にアンケートを実施しました。吉原東中をなくさないでほしいという意見や、このままでは部活動を選べないという意見もあり、賛否があるのは承知しています。しかし、未来の子どもたちのためには、どのような学校であるべきかを考えると、方針に従って適正化を進めた方がよいという結論になり、今に至っております。

○指定校変更を認めないとあったが、書類がそろっていれば認めると言う。それではダメだ。講師を頼むと余計に予算もかかる。先生を探すのも大変だと言えればいい。免許外の先生が英語を教えていた時代もあった。部活動も選べないからと、指定校を変更申請して吉原三中に行く人もいた。住民に説明しようとするのなら、もう少ししっかり説明すべきだ。

→適正化は財政面の理由からではなく、子どもたちの教育を優先した基本方針です。指定校変更については、「編入統合を理由とした指定校変更ができない」という提案です。

○3支部では「大瀧の舞」など中学生が手伝ってくれて盛り上がっていた記憶がある。そうした「ふるさと芸能」はどうなるのか。

→「総合的な学習の時間」で扱っていることは伺っています。学校の編入統合は地区の文化活動を妨げるものではありません。地区の文化活動は、地区に居住する子どもたちと継続してほしいです。

○現段階では、吉原東中付近に駐輪場を設けて、そこから徒歩で吉原三中まで行くという提案だが、実際に吉原東中から吉原三中までというのは、一般的に中学生の通学距離として遠い距離か。

→富士岡花守町や富士岡入町から徒歩で歩くと30分～40分かかりますが、市内の中学生が徒歩で30～40分の通学時間とは珍しくなく、むしろ普通です。しかし、「学校が遠くなるので心配だ」という意見を多数いただいているので、自転車通学ではどうかという提案をしています。当然ですが、自転車通学を強いるものではなく、徒歩を選択する生徒もいると思われます。吉原東中学校付近に駐輪場を設置するという案も、根方街道が危ないという意見を反映してのことです。

○市内で自転車通学を認めている学校はあるか。

→元吉原中学校と大淵中学校の2校で、自転車通学を認めています。大淵中学校で自転車通学が許可されている地域は、大淵地区の北部ですが、帰りは上り坂になり大変なので、自家用車での送迎も多いと聞いています。スクールバスの運行を検討してほしいとあったが、道幅の狭さが課題となります。さらに、スクールバスを走らせるということは、友達とおしゃべりしながら帰ることもできなくなります。子どもにとって何が必要なのか、どんな経験をしてほしいのか、考えなければならぬと思います。

○日程的には、「案」が取れるのはいつぐらいを想定しているのか。

→中学入学前にはお伝えすると説明しているので、編入時期が令和6年4月とすると、今年度中には決定をしなければなりません。

○吉原東中学校周辺に住む生徒が多いので、吉原東中学校に駐輪したとしても、あまり意味がないと思う。スクールバスは考えていないように聞こえるのだが、お金など財政的な問題があるのか。

→お金のことが第一の理由ではありません。子どもたちにとって必要であれば、それを用意するのが私どもの役目です。かつて、吉原東中学校の校舎を建てる際に、吉原第三中学校に間借りして授業を行っていた時代があり、吉原東中の20周年誌には、その頃の生徒の文章が載っています。「学校への通いは、ゆっくり歩くと40分かかかるので大変ですが、山道に咲く草花を摘み、それをしらべるのも一つの楽しみになりました。クラス全員の名前はまだよくわからないから早く慣れて、穆清、原田の区別なく仲良くしていきたいです。」とあります。10分、15分で着いていたのが、40分かかるとなれば、当然遠くなったと感じることでしょう。しかし、こうした時間もまた、子どもたちにとって貴重な時間ではないかと考えます。

○アンケートのことだが、小5、小6、中1～中3の保護者にアンケートをとったのか。

→保護者対象のアンケートは富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針の策定に当たって実施しました。吉原東中の編入統合についてのアンケートは、児童生徒を対象として行いました。

○アンケートは取った方がよいと思うがいかがか。

→様々な説明会の折に、「メール、電話、窓口、手紙等、どのような形でも意見や質問を承っています。」とお伝えしています。学校の編入統合が決定した後は、どのような支援ができるか、改めて意見を聞いていく必要があると思っておりますが、賛成、反対という意味合いのアンケートの実施は難しいと考えています。

○この3月までのスケジュール感を教えてほしい。

→1月に考える会を開催し、保護者説明会、地区説明会での御意見をお伝えして、御意見を伺う予定です。その後、担当課内で検討したうえで、概ね2月に保護者の皆様に最終案を説明し、教育委員会会議で方針を決定します。そして、3月に保護者や地区の皆様にお伝えする予定です。あくまでも順調に行ったらということではあります。

○残り3か月余りしかないが、今日出た質問や12月中に開催された説明会の質疑応答の状況は、いつ頃回答がされるのか。

→本日の分も合わせて、1月中にはウェブサイトに掲載します。

○過去、何回かこうした話が挙がったが、遅々として進まないことに歯がゆく思っていた。そうした中、考える会が開かれ、教育委員会から「やっていきたい」という思いを伝えていただいた。非常に驚いたと同時に、覚悟を感じた。保護者や地区の方からの要望や意見、考えを聞いて、令和5年4月から令和6年4月に修正していると思うが、反対の意見があれば、また延期するかもと思われかねない。それを危惧している。地区のためになることなので、私たちも協力するが、提案内容をぜひ強く進めていただきたい。

○吉原東中学校や吉原第三中学校で、ぜひ安全指導を徹底し、事故を未然に防ぐ対策を取ってもらいたい。吉原東中から吉原三中まで直線で1 Km。道のりならばもう少しある。それを徒歩でいくことが本当に現実的なのか。安全指導をしっかり行えば、自転車通学であっても、下り坂を安全に下ることができるのではないかと思う。

○考える会で、最初に日程が提案されたことに驚いたし、感激したが、1年延びたことにちょっとがっかりもした。「しっかり決めろ」という思いだ。これまでの説明会の中で、「絶対反対だ」と言い切った方は、1人だけであった。他の方は、自転車通学や学用品など、支援内容や条件についてであったように思う。子どものことを考えたら統合するしかない、もう半ばみんな思っていると感じる。はっきりした意見、回答をもって進めてほしいという思いでいる。

○自転車通学が決まったら、持ち帰る荷物の精選などを検討し、安全管理に気を配ってほしい。
→学校に伝えさせていただきます。

○編入に関する検討と並行して跡地利用も検討していくとあるが、どのような検討をどの課が主体になっていくのか。

→現段階で何か動いていたり、立ち上げていたりということはありません。統合編入が決定した段階で、跡地について地区からの意見を伺わなければならないと考えています。教育委員会は跡地利用を決定する組織ではありませんし、市全体の構想や地区の活性化にもかかわることですので、市役所内で検討する委員会や地区の方の意見を聴く会などを立ち上げる必要があると考えております。

○体育館は建て替えたばかりだが、校舎の耐用年数はどうなっているか。一般論としては概ね65年と聞いているが。

→ご指摘のとおり、65年使用していくのが基準です。富士市の学校は築50年前後のものが多く、10数年後には、一斉に改築を迎えることになってしまいます。そのため、長寿命化の対策などを行い、少しずつ時期をずらして改築や大規模修繕を実施していく予定です。吉原東中学校の校舎は、昭和40年の建築で、現在築56年である。65年の使用期間終了を迎える前に長寿命化を行っていきたいと考えております。跡地の利用は、校舎の利用もその対象と考えています。

○民間にレンタルすることになった場合、市として補修費用を出したりするのか。

→跡地利用に関しては、売却したり、指定管理者制度を導入したりと様々な方法があり、一概には言えません。

○中学校が統合されるのは子どもが少なくなったからである。となれば、若い人が集まるように、何らかの専門学校を呼びたいとなった場合、教育委員会で協力いただけるか。

→教育関係のことであれば、関与していきますが、跡地利用は諸々の条件を考慮しなければならないと考えます。